



身体的虐待

保護者が子どもに、殴る、蹴る、やけどをさせるなどの暴行をすること。骨折や外傷などを負い、死に至ることもあります。

心理的虐待

大声や脅し、無視や拒否的な態度、兄弟間で差別する、自尊心を傷つける言葉を繰り返すなど、子どもの心を傷つける虐待。

子ども虐待の種類

性的虐待

子どもへの性交、性的行為の強要、子どもに性器や性交を見せるなど。本人の告白や家族が気づかないとなかなか表面化しません。

ネグレクト

子どもを家に残して外出する、食事を与えない、衣服を着替えさせない、パチンコに熱中して子どもを自動車内に放置するなど。

夫はトラックの運転手。最近仕事が少ないので、ファミレスのアルバイトもかけもちしている。家のローンを払うため、朝早くから夜遅くまで働いて、家にいることは本当に少ない。

育児は私一人でやらなくてはならない。生後1カ月の娘は夜泣きが多い。昼寝したと思ったら、夜は寝なかつたりと、娘のペースで振り回される毎日。

その上、3歳の息子も手がかる。おもちゃも多く、おむつが外せない。トイレくらい自分で行ってほしいのに。

夫は、私の苦勞も知らず、「子育てはお前の担当だ」と寝てるだけ。昨夜も夜中に2人の子どもが次々泣き出して、寝ていた夫が怒り出した。

私は、寝不足でイライラしていたこともあり、息子の頭をたいてしまった。

「お願いだから、静かにしてー!」と、小声で怒ると、息子は静かになった。

息子をたたくようになったのは、娘が生まれてから。最近だんだん言うことを聞かなくなり、たたく回数も増えた気がする。

私 は24歳の主婦。6歳年上の夫と、3歳の息子、そして先月生まれたばかりの娘の4人家族。

実家は東京で、高校卒業して就職、息子を妊娠し結婚・退職。そして娘の出産を機にこの町に家を買って、引っ越してきた。

この町は、前に住んでいた都会より自然が多く、昼は富士山、夜は星がよく見える。けれど電車は単線で地下鉄もなく、車を運転できない私にはちょっと住みにくい。夫が仕事でいないときは、スーパーの買い物以外で外に出ることはほとんどない。

もう一つ、この町を住みにくいと感じるのが、「近所つきあい」。

先日、区の役員という人が訪ねてきて、「自治会へ加入してほしい」と言った。今まで引越しが多かった私たちは、いつも加入を断っていた。これからは定住するけど、やっぱり加入する気はない。

区の人は何度か来たけど、その度に「自治会に入る気はないから、もう来ないで!」と伝え、ドアに鍵をかけた。

*この物語は、全国の児童虐待事件等の記録をもとに再構成した、架空のお話です。



一人じゃないって
特集 気がついて!
~児童虐待をなくすために~

虐待としつけの違い

この2つの間には、しっかりと線引きできないグレイゾーンが存在します。しかし、多くの事例に関わってきた福祉・保健関係者や精神科医、小児科医などが言うように、「子どもが耐えがたい苦痛を感じることであれば、それは虐待である」と考えるべきです。

保護者が子どものためだと考えていても、過剰な教育や厳しいしつけによって子どもの心や体の発達が阻害されるほどであれば、子どもの側に立って判断し、虐待と捉えるべきです。

そんなある日、夫は朝早く仕事へ出かけ、私は寝坊して昼前に起きた。息子は冷蔵庫の前にいた。空腹に耐えきれなかったのか、マヨネーズをそのまましゃぶっていた。勝手に冷蔵庫を開けたことへの怒り、マヨネーズをそのまま食べて大丈夫かという心配、寝坊して朝食を作ってあげられなかった自分へのいら立ち、すべてが頭の中でゴチャゴチャになった。

「ごめえ、何やってんだー!」
気がついたときには、息子の頬をたたき、おなかを思いきりけり飛ばしていた。
私のかかどが、みぞおちを直撃した。
息子は「ゲッ」と小さくうめきながら、台所の端まで吹っ飛ばされた。

そのときの息子の私を見る目は、たぶん一生忘れられない。幼い顔が、生まれて初めて経験する恐怖でゆがんでいた。
翌朝、子どもを着替えさせると、おなかや頬に紫色のあざができていた。
イライラしたり、自分にゆとりがないときに、スイッチが入ってしまう。その後は罪悪感に襲われ、後悔の涙があらわてくる。それでも息子は、泣いている私に手ぶきタオルを差し出しながら、
「ママ、ごめんね」と抱きしめてくれる。

でも、次の日には、また別のことで怒りがこみあげる。ごはんを食べないとき、おもちゃを片つけないとき、トイレトーパーを無駄遣いしたとき…。馬乗りになっ
てなぐり、力いっぱい引きずり回した。
これはきっと、『しつけ』なんだと思う。
口で言っても分からない子には、体で分からせるしかない。私が小さいころも、親に殴られて育ったのを覚えている。
だって、かわいい子どもを、好きで殴る親なんて、いるわけがないんだから。

その夜、いつものような母親の怒鳴り声
と、いつもより大きな息子の泣き声が聞こ
えてきた。と思ったら、急に静かになった
と近所の人は言う。

母親が救急車を呼んだのは、その2時間
後。救急隊員に抱きかかえられ、家の中か
らくったりした男の子が運び出された。母
親は玄関先に呆然と立ち尽くしていた。

3歳の息子は、それから2日後に病院で
亡くなった。死因は頭部を強打したこと
による脳損傷。病院の医師によれば、息子の
体には多くのあざが見つかったと言う。

父親は、息子のあざや母親の虐待に、まっ
たく気がつかなかったと言う。

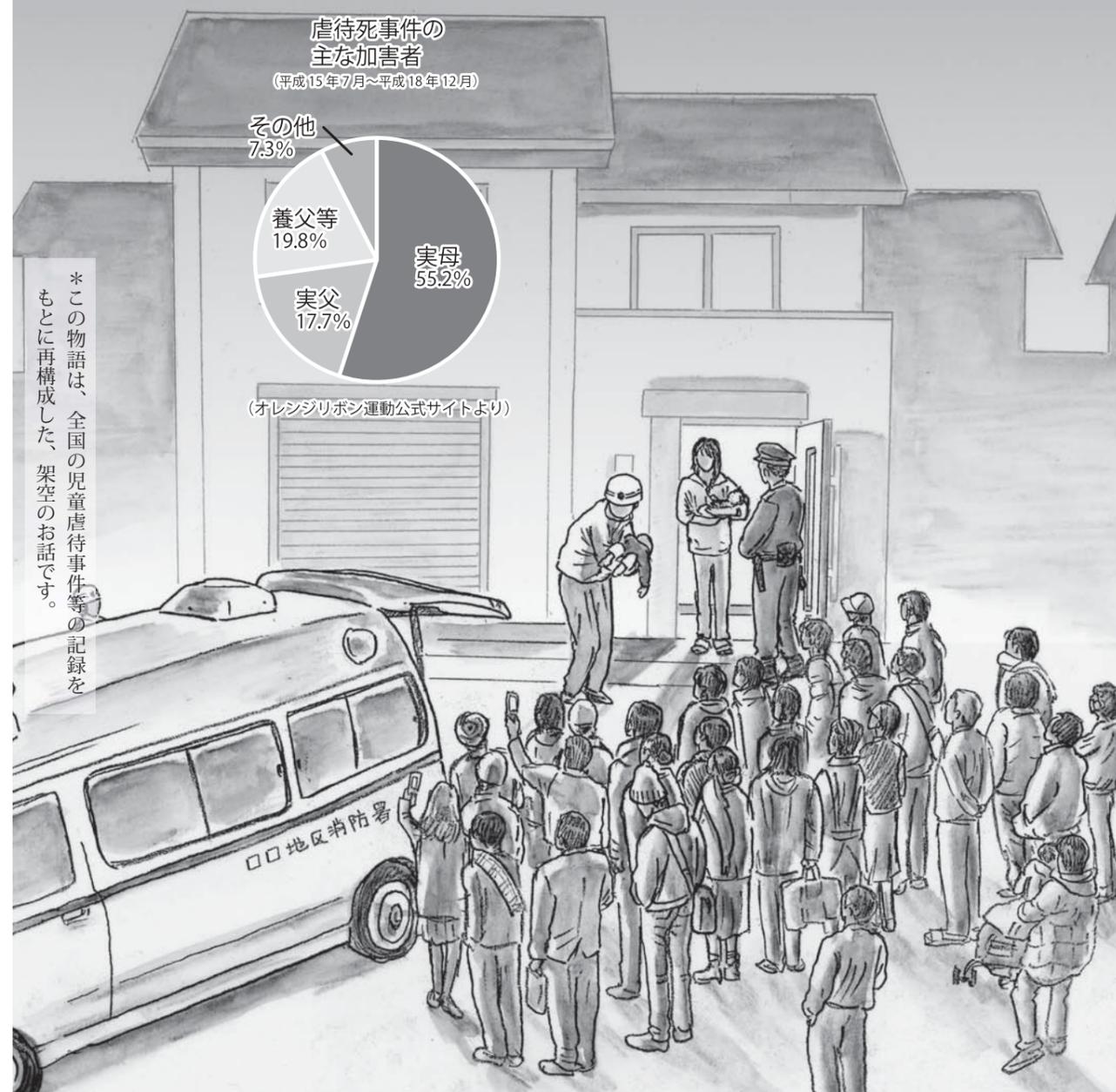
母親は、傷害致死で逮捕された。

マスコミの取材に応じた近所の人々は、
「こんな近くで児童虐待があるなんて」「
いつかこうなるんじゃないかと思ってた」
「こうなる前に、防ぐ方法はなかったのか」
と口々に言い合った。

最近、近所の主婦たちの井戸端会議で
話題になっているのは、引越して
きたばかりの若い一家の話。

「先日、うちの主人が区費をもらいにいっ
たら、怒鳴って追い返されたって」
「おとこいは、新生児訪問に来た市役所
の保健師さんも、門前払いされてたわ」
「若いけど、気の強い奥さんね」
「昨晚も、奥さんの怒鳴り声と子どもの
泣き声が聞こえてきたわよ」
「...もしかして、児童虐待?」
「ギャクタイ?まさか...」
「警察とか、市役所に通報しなくてもい
いのかな」
「でも、もし間違いだったら、またあの
奥さんが怒鳴りこんでくるわよ」
「放っておきましょう。他人の家のことは」

近所の人たちは、一家のことを話題には
するが、それ以上は立ち入らなかった。
そして、一家が引越してきてから半年
たったころ、事件は起きた。





経明香さん 昇くん

たんぼひろばに毎週通っています。私は外国人なので、日本の言葉や習慣についても先生が教えてくれるのは助かります。この利用者はみんな優しく、仲の良い友だちもたくさんできました。

息子夫婦が共働きなので、孫とほぼ毎日、たんぼひろばに来ます。都合のいい時間に来て、いつでも帰れるのがいいですね。午前には孫をここで遊ばせると、午後は昼寝してくれるので育児がとても楽になります。他のお母さんたちから教えてもらう育児情報も役に立ちますよ。



住谷啓子さん 那月ちゃん

利用



親子遊びや交流の場

地域子育て支援センター（こども育成課）
☎ 055-948-1447

市内に2カ所の子育て支援センターは、平日の昼間、毎日開設しています。市内に住む未就学前の乳幼児とその親（保護者）なら、誰でも無料で利用できます。

親子で遊んだり、行事に参加したりでき、親同士の交流の場にもなっています。



子育て支援センター すみれひろば



子育て支援センター たんぼひろば

日時 月～金曜日 9:30～11:30、13:00～16:00
内容 広報カレンダー裏・右『子育てひろば』を参照



子育て支援事業

やんちゃっこクラブ
子育て講座ゆうゆ

（福祉課）☎ 0558-76-8008

やんちゃっこクラブは全10回の内容で、前期・後期の年2回開催。読み聞かせやリズム体操、保育士や地域のボランティア、母親同士の育児体験を話し合う場です。

子育て講座ゆうゆは、全4回の講座。就学前の子どもを持ち、育児不安のある親が、子どもとの接し方の『コツ』を学ぶ場です。

*どちらも今年度は申し込み終了しました。来年度も、開催が決定次第、広報紙で募集する予定です。

参加

やんちゃっこクラブに参加しました。家で子どもと自分だけだとイライラして息がつまることもあるけど、やんちゃっこは、親子それぞれが楽しんで、息抜きできました。

竹下香織さん 沙耶ちゃん



木村由美さん 結伍くん 安那ちゃん



最初は上の子が離れなかったけど、ボランティアさんが見ててくれて助かりました。やんちゃっこクラブで、知らないお母さんとも仲良くなれました。

虐待

待は、特別な家庭だけではなく、どんな家庭にも起こりうる問題です。物語の中で、なぜ悲劇は起きてしまったのでしょうか。本当に、事前に防ぐ方法はなかったのでしょうか。

『育児は世界一大変な仕事』と言われることがあります。母親は、妊娠・出産の負担や疲労から自分を癒す間もなく、ノンストップで24時間の育児をしなければなりません。この時期、母親には、心身ともに大変なストレスがかかります。

そんなとき、夫（父親）や両親、友だちなど、周囲にその大変さや愚痴を聞いてくられたり、褒めたり、励ましてくれる誰かがいないと、日々のストレスを発散させることができず、育児ノイローゼや児童虐待に陥りやすい状態になります。

もし物語の母親が1人ではなかったら、悲劇は避けられたのかもしれませんが。市では、子育てを支援するためのさまざまな事業を行い、保護者の悩みやストレスを解消できるようにしています。

相談



金指綾子さん 恋ちゃん 心くん 潤さん

育児に悩んだとき、保健師さんのアドバイスを受けられるのが嬉しいです。たとえすぐに解決しない内容でも、『今』の話を聞いてもらえると安心します。一人で悩むことも少なくなりました。

福井香織さん 優杜くん 芹澤ちひろさん 海飛くん



泉典子さん 建汰くん 菊間さやかさん 健翔くん

母親学級で知り合った4人の母親。今はのびのび広場で会えるのが楽しみで、ほぼ毎回通っています。月齢が同じくらいの子どもの持つ親同士なので、「その安い服はどこで買った？」など情報交換できるのも助かっています。



就園前の育児相談

のびのび広場（健康づくり課）

☎ 0558-76-8013

市内3カ所の保健センターで、毎月開催している『のびのび広場』。就園前の親子を対象として、保健師による身長・体重などの発育測定や健康に関する相談を行い、親子遊びの場を提供しています。

事前の申し込みも不要で、気軽に利用できることから、親同士の交流の場としても活用されています。



長岡保健センター



葦山保健センター



大仁保健センター

■のびのび広場■

各保健センターで毎月1回ずつ開催。
時間 9:30～11:30
日程 広報『月のカレンダー』を参照

そして児童虐待防止には、地域・社会の力が必要です。

ある児童虐待の事例では、近所の住民が頻繁に泣き声や怒声を聞いていたのに、誰も児童相談所や警察に通報しなかったというケースがありました。

最大の敵は、社会の『無関心』です。

体に殴られたようなあざや傷のある子どもがいる、汚れた衣服を着て食事を与えられていないような子どもがいる、子どもが寒い冬の時期に戸外に長時間出されている、子どもが大泣きしている声がいつも聞こえる、小さな子どもを残して両親が外出し食事や世話を十分にしていない…。

このように、著しく様子がおかしい、適切な養育を受けていない子どもがいるようだと感じたら、匿名でも結構です、すぐに通報してください。

児童虐待防止に、地域・社会全体で向き合っていきましょう。
(特集おわり)



大仁地区主任児童委員の渡辺公人さんと遠藤月子さん

同じ市民の立場で訪問相談 民生委員・主任児童委員

お住まいの地域には必ず、民生委員や主任児童委員がいます。これらの委員は、厚生労働大臣より委嘱された民間のボランティアです。家庭訪問などで相談を受け、市民の立場で援助等を行います。民生委員や主任児童委員に相談にのってもらいたいけど担当委員がわからないときは、福祉課へご連絡ください。福祉課 ☎ 0558-76-8008

最も身近な虐待相談所 市家庭児童相談室（福祉課）

市役所の福祉課内には、市の家庭児童相談室が開設されていて、専門の家庭児童相談員がいます。最も身近な児童虐待の相談所として、電話や来庁でご相談ください。月～金曜日 8:30～17:15
福祉課（大仁庁舎） ☎ 0558-76-8008



専門の家庭児童相談員や職員が相談にのります



大仁警察署

田方消防本部

生死に関わる緊急連絡先 大仁警察署・田方消防本部

市民の安全を守る警察署や消防署も、児童虐待の連絡先のひとつです。子どもの生死に関わるような緊急事態のときは、直接連絡してください。

大仁警察署生活安全課 ☎ 0558-76-0110

田方消防本部 ☎ 119

静岡県東部児童相談所 ☎ 055-920-2085（月～金曜日 8:30～17:15）

* 県の児童相談所です。児童虐待に関する相談を受けます。

児童虐待緊急連絡先 ☎ 055-922-4199（24時間）

* 24時間の緊急連絡先です。管轄の児童相談所につながります。